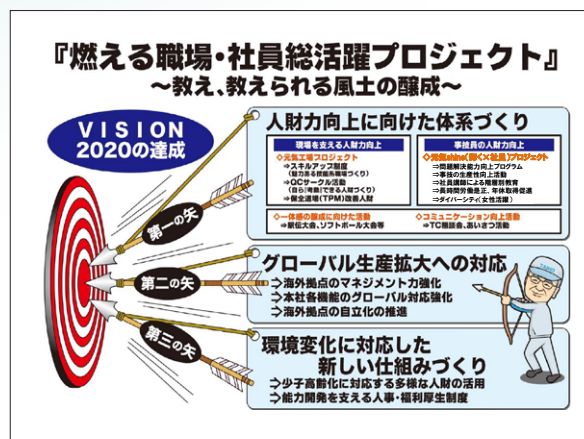


VISION2020の実現に

当社は「VISION2015」に続く「VISION2020」を策定し、地球環境とお客様へ貢献していくためにさまざまな活動に取り組んできました。「VISION2020」のスタートから5年の節目の時期を迎え、将来の「VISION2025」に繋げていくため、これまでの諸活動を紹介します。

「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」をスタート



「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」ポスター

「VISION2020」を実現する人財づくりのため、「教え、教えられる風土の醸成」を提唱し、さまざまな活動を2015年より展開してきました。この活動全体を「大豊の風土」として根付かせるため、2016年に「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」と名称を改めました。社員一人ひとりが主役となり、心身共に健康で活躍できる職場づくりのために、「3本の矢」の枠組みでさまざまな活動に取り組んでいます。

「3本の矢」の主な取り組み

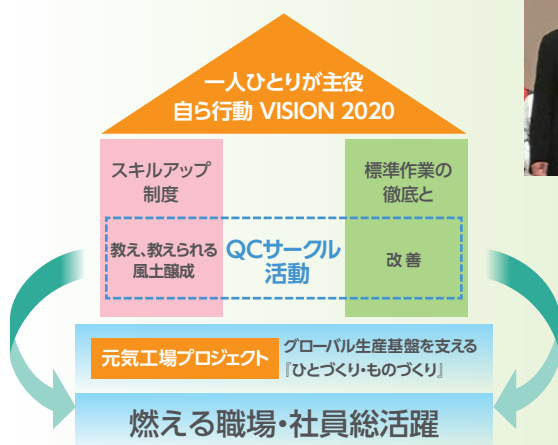
	2016年	2017年	2018年	2019年
第一の矢 人財力向上に向けた体系づくり 人にスポットをあて、組織を活性化させる	問題解決能力向上プログラム			
	スキルアップ制度導入	スキルアップC級開講	スキルアップB級開講	A級開講（予定）
	QCサークル活動活性化	愛知地区大会 改善事例発表会	愛知地区大会 改善事例発表会	フレッシュ&チャレンジ大会 「地区長賞」「体験事例優秀賞」受賞
	既存業務改善の生産性向上活動		元気shine（輝く×社員）プロジェクト	新 TPSに基づく人づくり 仕組みづくり
	一体感の醸成に向けた活動（駅伝大会、夏まつり、ソフトボール大会、独身寮ビアガーデン等）			
	コミュニケーション向上活動（TC（タイハウコミュニケーション）懇談会、職場労使懇談会）			
	ダイバーシティ・マネジメント		女性活躍推進	
	働き方改革に向けた労使連携強化			
第二の矢 グローバル生産拡大への対応 お客様の現地調達ニーズに応える	グローバル人材育成制度			
		本社機能の横串連携体制		
			TCA元気プロジェクト	新 PTN元気プロジェクト
第三の矢 環境変化に対応した新しい仕組みづくり 多様な人財の多様なニーズに応える	能力開発を支える福利厚生制度の構築		カフェテリアプラン導入	
	健康づくり支援			新 健康経営
	能力開発を支える人事制度の構築			
			働き方改革関連法対応	

向けて

第一の矢 人財力向上に向けた体系づくり

「第一の矢」は、人にスポットをあてた技能系社員の「元気工場プロジェクト」、事技系社員の「元気shine(輝く×社員)プロジェクト」を中心に取り組み、職場でのモチベーション向上と一体感の醸成を図っています。

● 元気工場プロジェクト



地区長賞を受賞

元気工場プロジェクトは、「教え、教えられる風土の醸成」一人ひとりが主役となり、絶えざる創意工夫と改善によりモチベーションを向上させ、常に顧客に感動を与える製品をつくり、提供し続けることを目的として取り組んできました。

QCサークル活動は、元気工場プロジェクトを達成する重要な取り組みの一つとして推進しています。近年は社外大会参加による視野の拡大を重点とし、2019年6月には当社エキサイトサークルが、QCサークル東海支部愛知地区が主催するフレッシュ&チャレンジ大会に出場し、最も優秀な賞である「地区長賞」および「体験事例優秀賞」を受賞しました。

● 元気shine(輝く×社員)プロジェクト



改善活動ミーティング

今年度はTPS(トヨタ生産方式)の「考え方、ものの見方」を根幹に、働き方改革を実現する人づくり、仕組みづくりを掲げ活動しました。

自部署の使命・役割を部員全員が理解した上で、やるべき仕事が行われているか、今やっている仕事は本当に必要か、その仕事はどのようにやっているのか、などの観点から改善作業を行い業務標準を新たに構築しました。新たな業務標準書は自部署の育成ツールや改善ツールとして活用され、生産性向上に寄与するものとなります。また部署長のレベルアップと部員の成長と人財力向上も図りました。人を育てる風土、活発なコミュニケーション、チームワーク、常にPDCAを回す改善チェックといった職場の風土、仕組み、意欲の醸成につなげていきます。

第二の矢 グローバル生産拡大への対応

「第二の矢」は、海外市場での拡販がますます重要となっていく中で海外拠点のレベルアップが不可欠と考え、海外サポート体制強化と赴任者教育およびローカル人財力の向上に取り組んでいます。



TCA元気プロジェクトミーティング

TCA元気プロジェクトでは、生産拠点の基盤強化をサポートするため、日本から支援者を派遣する形で実施しています。サポート内容も、設備改善や不具合対応に留まらず、ローカルスタッフへの改善手法の教育や標準作業を軸としたスキル指導など、長期的視野でローカル人財力向上の支援を行っています。



環境変化に対応した新しい仕組みづくり

「第三の矢」では、社員一人ひとりがやりがいを持って働ける職場づくりを目指し、福利厚生制度の充実を進めてきました。少子高齢化等の社会的課題に対応するための「健康経営」の取り組みを、「環境変化に対応した新しい仕組みづくり」の一つとして取り入れ、社員の健康維持・増進のための施策を行っています。

大豊工業の健康宣言

1. **健康寿命延長のために**
当社は、社員の皆さんが自らの健康状態を意識し、運動習慣を身に付けられる取り組みを応援します。
2. **働きやすい快適な職場づくりのために**
当社は、社員の皆さんが安心して働ける職場環境を整備します。

● 健康経営の取り組み

「燃える職場・社員総活躍プロジェクト」を通じて、 心身ともに健康で働ける職場づくりを目指して。

当社は、生活習慣病予防とメンタルヘルスケアを中心に、健康管理と健康づくりに取り組んできました。生活習慣病予防では、運動習慣づくりや食生活改善指導など、さまざまな活動を行ってきました。効果は長期的に検証していますが、有所見率はやや上がる傾向にあり、社員の健康状態が改善されているとはいえない状態です。社員一人ひとりが健康への「うれしさ」を感じられなければ、取り組みの効果は限定的になってしまいます。

今年6月に、当社は健康宣言を行いました。これは、「会社のため」だけではなく「社員の皆さんのため」の活動であることのメッセージでもあります。社員が自発的に健康について考え、「大豊工業で働いて良かった」と思ってもらえるような職場づくりを目指し、燃える職場・社員総活躍プロジェクトの「第三の矢」として、全力で健康経営を推進していきます。



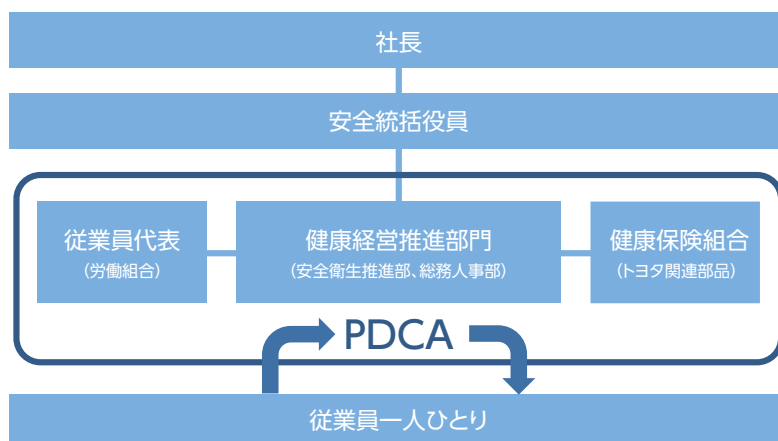
安全統括役員
専務取締役
佐藤 光俊

● 取り組むべき事項

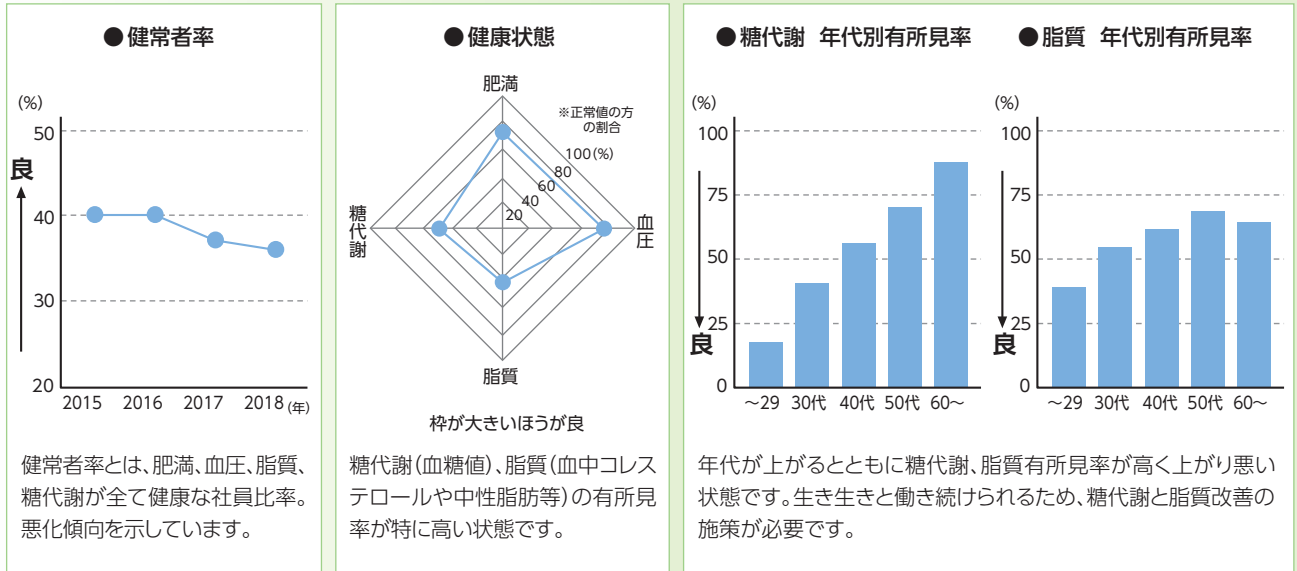
1. 食生活改善
2. 運動習慣づくり
3. メンタル疾病対策 等

生きがいを持って健康で働き続けるため、健康寿命の延長を支援し、働きやすく快適な職場づくりに取り組んでいます。

● 推進体制



● 従業員の健康課題



● 主な施策

食生活改善

カロリーの過剰摂取による肥満、また生活習慣病を予防するため、売店での低カロリー食品コーナーの設置、自動販売機の各ドリンクにカロリーを表記するなど、カロリー確認を習慣付ける取り組みを行っています。



運動習慣づくり

日常的に体を動かす機会が不足している従業員に、運動習慣を意識付けるためさまざまな取り組みを実施しています。



てくてく大作戦

期間中にチーム平均歩数を競い合うイベント。職場の仲間と楽しみながら、運動習慣につなげていきます。

大豊グループ駅伝大会

職場の一体感と運動習慣づくりのため、大豊工業、グループ会社、仕入先のチーム対抗駅伝大会を実施。

メンタルヘルスケア

(P.16「従業員とともに」にて掲載)